

学校だより 朝日丘

令和7年1月28日

氷見市立朝日丘小学校

氷見市朝日丘3番1号 TEL:74-8422 FAX:74-8423

学習参観ありがとうございました

先日は、お忙しい中、学習参観のためにご来校いただき、ありがとうございました。子供たちが積極的に授業に参加し、考えたことを一生懸命発表する姿をご覧いただけたことと思います。保護者の皆様からいただいた温かい眼差しや励ましの言葉は、子供たちにとって大きな励みとなることでしょう。教職員一同、子供たちがさらに充実した学校生活を送れるよう、努力を続けてまいります。今後とも、子どもたちの成長を見守り、共に支えていただけますようお願い申し上げます。

今回は、通常の学習参観だけでなく、学校医の先生をお迎えしての「すこやかトーク」も行われました。本校では、学校医の先生方が協力授業を行ってくださっていますが、それ以外に、毎年5年生の「すこやかトーク」にも学校医の先生方が参加してくださっているのです。学校医の先生方に貴重な機会をいただいていることに改めて感謝申し上げます。



給食委員会が企画してくれた集会より

1月24日に、サンライズ集会が行われ、給食委員会が給食センターの仕事についてクイズを通して伝えてくれました。いつもおいしい給食ですが、ますますおいしく感じられるような発表でした。



集会では、「ありがとうの花」を全校で合唱しました。「ありがとうって言ったらみんなが笑ってる そのかおが嬉しくて何度もありがとう」という歌い出しの歌詞、とてもいいですね。「ありがとう」の声が世の中に響き合うといいですね。

ことだま

日本では、大昔から「言葉には魂が宿っていて、口に出した言葉どおりの結果をもたらす力がある」と信じられてきました。「ことだま」とは、「言葉に宿るエネルギー」とも言えるでしょう。

自分の言葉を常に聞いてくれている人がいます。それは、自分自身です。ということは、いい言葉を発すると、言われた相手だけではなく、自分自身にもプラスのエネルギーを与えてくれるということです。例えば、誰かに「ありがとう」と言えば、「ありがとう」と言われたときと同じ効果があるのです。それとは逆に、マイナスのエネルギーをもつ言葉を発した場合、自分自身のやる気を損なうことになるものです。

どうか、マイナスの言葉をプラスの言葉に変えてほしいものです。例えば、「疲れた」を「頑張った」に、「これだけしかできなかった」を「ここまでできた」という言葉に。そうすれば、きっとみんながいい気持ちになることでしょう。

ホームページに掲載した写真より

